

## ポリプロピレンコンパウンドのグローバル供給体制の拡充について

住友化学は、このたび、ポリプロピレン（PP）事業のグローバル展開をさらに推進するために、タイ、サウジアラビアおよび中国において、東洋インキ製造株式会社（以下、「東洋インキ」）をパートナーとして PP コンパウンドの生産・販売拠点の新增設を行うこととしました。

PP コンパウンドは、PP に合成ゴムや無機フィラーなどの素材を混練することで、機能性や剛性などを向上させた高性能な材料で、自動車のバンパーや内装等に使われています。住友化学は、かねてより PP 事業のグローバル展開を積極的に進めており、現在、サウジアラビア・ラービグにおいて新プラントを建設中です。完成後には、シンガポール、北米・テキサス州および日本・千葉とあわせて、世界4極、日本の化学メーカーで最大となる年産200万トン規模の PP 供給体制が構築されることから、これらを最大限に活かして、PP コンパウンド事業について一層の拡大をはかっていく計画です。

タイは、今般、東南アジア地域の中でも、特に日系自動車メーカーの進出が進んでおり、2010年には日系自動車生産台数が2007年と比較して約3割増加することが見込まれるなど、日本・北米・欧州・中国に次ぐ市場と位置付けられています。当社は、東南アジア地域では、子会社「ザ ポリオレフィン カンパニー（シンガポール）」(TPC)を通じて、かねてより PP 事業を展開してまいりましたが、今回、自社設備によるコンパウンド拠点をタイに新設することで、タイおよび周辺諸国における高品質でコスト競争力の高い製品の拡販をさらに強力に進めていくこととしました。

サウジアラビアでは、住友化学が出資する「ラービグ・リファイニング・アンド・ペトロケミカル・カンパニー」(ペトロ・ラービグ社)において、現在建設を進めている新プラントで生産される PP を主原料としたコンパウンド事業拠点を今回新たに設立するものです。アジア、アフリカ、欧州等の市場に向けて、原料から一貫した生産体制を構築することにより、その優位性を活かした PP コンパウンド事業を展開してまいります。

中国では、2005年に東洋インキとの合併で PP コンパウンドの製造・販売会社（珠海住化複合塑料有限公司）を設立し、現在、すでにフル操業となるなど、順調に販売を拡大しています。中国では日系自動車生産台数は2007年と比較し2010年には約4割増加することが見込まれておりますが、なかでも同社が立地する華南地区では日系メーカーの生産拡大が急速に進んでいます。そのため、今後も増大する需要に対応すべく、製造ラインの増設を行い、生産能力を倍増させることとしました。これにより、中国市場におけるさらなる事業拡大を目指してまいります。

以上

<新事業拠点の概要>

1. タイ新会社の概要

- ・会社名 Sumika Polymer Compounds Thailand (仮)  
(スミカ ポリマー コンパウンズ タイランド社)
- ・本社 バンコク近郊ウェルグロウ工業団地
- ・出資比率 住友化学 55%、東洋インキグループ 45%
- ・生産能力 1.1万トン/年
- ・設立時期 2008年年央

2. サウジアラビア新会社の概要

- ・会社名 Sumika Polymer Compounds Saudi Arabia (仮)  
(スミカ ポリマー コンパウンズ サウジアラビア社)
- ・本社 ラービグ コンバージョン インダストリアル パーク
- ・出資比率 住友化学 55%、東洋インキ 45%
- ・生産能力 1万トン/年
- ・設立時期 2008年年央

3. 中国増設の概要

- ・会社名 珠海住化複合塑料有限公司
- ・本社 中華人民共和国広東省珠海市斗門富山工業区
- ・出資比率 住友化学 55%、東洋インキ 45%
- ・生産能力 1.1万トン/年の増加により、完了後2.2万トン/年
- ・設立時期 2005年5月設立、2006年から稼働中